

第1期

つなげよう  
HAPPYが  
あふれる  
未来へ



より詳しい  
本編もあるよ!



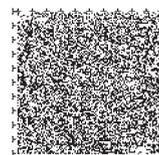
# 台東区地域福祉活動計画

Community Welfare Action Plan

令和7年3月

台東区社会福祉協議会

Taito Council of Social Welfare



# 「台東区地域福祉活動計画」ってどんな計画なの？

## 「昔に比べたら近所づきあいはほとんどないね」 「隣にどんな人が住んでるか知らないな…」

そんな声が増えている昨今ですが、皆さんの地域ではいかがでしょうか？

様々な社会変化もあり、台東区でも、地域で「困りごと」や「生きづらさ」を抱えている人が増えています。その理由も人それぞれ。

そんな今だからこそ、地域のつながり、地域の活動は大きな役割を持っています！

この「台東区地域福祉活動計画」は、調査の中で分かった課題や目指すべき地域の姿を考え、区民や関係機関、団体、企業などの皆さんと一緒に「誰もがその人らしく暮らしていける地域社会づくり」に挑むためのものです。

「私たちにできることって何だろう？」まずは一緒に考えてみませんか？



「地域福祉活動計画」は  
台東区で暮らすみんなが主役の  
計画なんだね!!

詳しく知りたい方は  
QRコードから  
本編をチェック!



### ● 計画の位置づけ

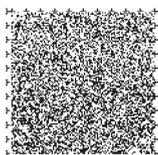
本計画は、台東区社会福祉協議会が事務局となり、区民や関係機関、団体、企業などと協力し策定しました。また、台東区が策定した「台東区地域福祉計画」(計画期間：令和5年度～令和11年度)と緊密な連携を図っていきます。

#### ※台東区社会福祉協議会

台東区の地域福祉を推進することを目的に活動している民間の組織です。地域で暮らすみなさんと幅広い関係者との連携・協働のもと、誰もが安心して暮らせるまちづくりをおこなっています。

### ● 計画の期間

6年間(令和7年度～令和12年度)



# 未来につながる計画

## ● 地域共生社会の実現

この計画は地域共生社会の実現につながる計画として策定しました。

地域共生社会とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

- ちいききょうせいしゃかい  
● 多様性の尊重
- 気にかける関係性

一人ひとりの暮らし

- かつやく  
● 活躍の場づくり
- 安心感のある暮らし



誰もが尊重され役割を持てる地域共生社会

- そうしゅつ  
● 働き手の創出
- ちいきしげん ゆうこうかつやく  
● 地域資源の有効活用

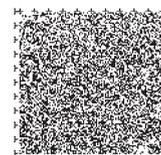
様々な社会・経済活動

- しゅうろう しゃかいさんか  
● 就労や社会参加の  
きかい  
● 機会の提供
- みんかんきぎょう  
● 民間企業による  
せいかつしえん さんにゆう  
● 生活支援への参入

こうせいろうどうしやう  
(厚生労働省 地域共生社会のポータルサイトより引用)



高齢者や障害者、子どもなど、  
国籍を問わず、そこに住むすべての人たちが、  
日常の暮らしのなかでできることを見つけて、  
行動していくことがとても大切なんだね。



# 計画の全体像



区民やボランティア活動者、NPO団体、企業、専門職などの多様な方に、アンケートやヒアリングを通して「困っていること」や「こんなものがあつたらいいな」を聞いたよ。

## ●まちの人の声を聞きました！

### ◎アンケート調査

区民向けアンケート、ボランティア活動者向けアンケートを実施し、延べ**1,280名**の方にご回答いただきました。



### ◎ヒアリング調査

社協職員が2人一組になって、台東社協と関わりのある地域活動者、ボランティア団体、NPO、専門職、企業など、**61団体**から直接ヒアリングを実施しました。



## ●調査を通して見えてきた台東区の“現状”

アンケートやヒアリング調査を行い、日常生活において、いろいろな困りごとが出ていることが分かりました。その困りごとを大きく3つに整理しました。

課題

1

こま 困っている人、「生きづらい」と感じている人が増えている！

課題

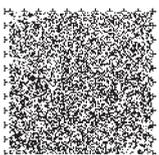
2

つながりや支え合いの力が弱まっている！  
ちいき 地域を見守る目や地域を支える人たちが足りていない！

課題

3

じゅうみん 住民や地域活動団体などが知り合う機会が少なく、  
お互いの強みを活かしきれていない！



困っている人は増えているけど、  
支え合いの力は弱まっているんだね…。



## ● 基本理念の設定

基本理念はこの計画の根本になる価値観や目的を表しています。基本理念の実現に向けて、計画を着実に進めていきます。

### 基本理念

「Challenge to the Future

私たちがみんなであつながり  
と  
支え合いが生きるまちを創っていく」

台東区の地域課題に対して、私たちは何を目指していくべきかを考え、設定しました。未来に向けてチャレンジしていく気持ち。暮らす人、働く人、それぞれができることに取り組み、つながりと支え合いが生きるまちを創っていこうという強い気持ちを表現しました。



基本理念はこの計画の中で一番大切にしなければならない言葉だね。みんなで力を合わせて、より良いまちにしていこう。

## ● 目指すべき地域の姿

基本理念の実現に向けて、「目指すべき地域の姿」を設定しました。

目指すべき地域の姿

1

ささいな困りごとを受け止め、  
お互いに認め合うことができるまち

目指すべき地域の姿

2

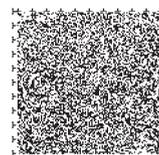
地域につながる一歩を踏み出し、  
みんなで支え合うことができるまち

目指すべき地域の姿

3

住民、地域活動団体などが知り合い、つながり、  
一緒に未来について考えることができるまち

次のページから、それぞれの目指すべき地域の姿に近づけるための取り組み例を紹介します！



●活動目標(1) 地域の<sup>ちいき</sup>困りごと<sup>こま</sup>に目<sup>め</sup>を向<sup>む</sup>けてみよう

区民の私たちにできること

- ・普段とどこか様子が違ったら気にしてみよう。  
→「最近あそこのおばあちゃん見かけないなあ」  
「郵便物も溜まっている…」など



台東社協の取り組み

- ・関係機関と連携を図り、情報把握に努めます。また、状況を整理し、解決に向けて動きます。
- ・住民が集う場に積極的に出向き、顔が見える関係性を構築します。また、より相談しやすい環境づくりに努めます。

●活動目標(2) 地域に<sup>ちいき</sup>多<sup>たよう</sup>様な<sup>かた</sup>方が<sup>く</sup>ともに暮<sup>り</sup>らしていることを理解<sup>りかい</sup>しよう

企業や学校・文化施設などに通う・働く私たちにできること

- ・気になる方がいたら相談窓口<sup>りかい</sup>に連絡してみよう。  
→「常連さんの身なりが最近荒れている」(お店)  
「何度も通帳を無くしているお客さんがいる」(銀行)  
「必要な手続きが難しそうな親御さんがいる」(学校) など
- ・だれでも参加・来所しやすいような案内や環境づくり(年齢や障害、言語などへの配慮)に取り組んでみよう。



台東社協の取り組み

- ・気になる方へ適切な対応ができるように、スタッフ向けに対応方法のレクチャーを行うなど、相談支援を行います。
- ・気になる方が適切な支援につながるよう関係機関と連携します。

●活動目標(3) <sup>そうだんさき</sup>相談先<sup>さうだんさき</sup>につなげよう

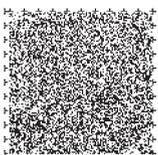
地域活動者・団体や医療・福祉関係者の私たちにできること

- ・普段から地域や住民と関わる中で変化に気付けるようにしよう。
- ・区民や地域の困りごとに対して相談に乗り、適切な相談先につなげたり、解決に向けて支援しよう。



台東社協の取り組み

- ・地域活動者や団体からの相談を受け止め、解決に向けて一緒に考えていきます。
- ・複雑化した相談ごとは、関係機関に呼びかけて話し合う場を作るなど、解決に向けて動きます。



●活動目標(1) <sup>みちか</sup> <sup>ひと</sup> 身近な人とのつながりに <sup>め</sup> <sup>む</sup> 目を向けてみよう

区民の私たちにできること

- ・近所や同じマンションに住む人に会ったら「おはようございます」「こんばんは」とあいさつしてみよう。
- ・地域の防災訓練やお祭りなどの行事に参加してみよう。



台東社協の取り組み

- ・サロン活動などの居場所の立ち上げ、運営支援をするとともに、参加者同士が交流できるような場づくりを支援します。

●活動目標(2) <sup>じぶん</sup> <sup>いごち</sup> 自分にとって居心地のいい場所を見つけよう <sup>ばしょ</sup> <sup>み</sup>

企業や学校・文化施設などに通う・働く私たちにできること

- ・地域の防災訓練やお祭りなどの行事に参加してみよう。
- ・住民が気軽に立ち寄れる場の提供など、自身が持つ特徴や強みを活かした取り組みを考えてみよう。



台東社協の取り組み

- ・参加・協力いただけるイベントなどの情報を提供します。
- ・台東社協が持っているネットワークを活かし、さまざまな関係機関と調整・連携を図ります。

●活動目標(3) <sup>じせだい</sup> <sup>ほうほう</sup> <sup>かんが</sup> 次世代につなげる方法を考えてみよう

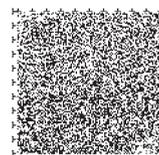
地域活動者・団体や医療・福祉関係者の私たちにできること

- ・気になる人を地域のイベントやサロンに誘ってみよう。また、勉強会や茶話会などを開き、情報共有できる場を作ろう。
- ・活動の見学や体験を受け入れ、協力者を増やしていこう。



台東社協の取り組み

- ・公的制度やサービスのみならず、民間も含めた地域のさまざまな情報を集約し、相談内容に応じた適切な情報提供をします。
- ・認知症の方、障害のある方、ひきこもりの方など、だれもが気軽に楽しく社会参加できる場を創っていきます。



●活動目標(1) <sup>ちいき</sup>地域で活動している方 <sup>かつどう</sup>の活動内容 <sup>かた</sup>を知ろう <sup>かつどうないよう</sup> <sup>し</sup>

区民の私たちにできること

- ・まちの掲示板や地域活動団体のチラシ、SNS、ホームページを見てみよう。
- ・何かをしたいという思いを周りに発信してみよう。



台東社協の取り組み

- ・ふくしつながりフェスタなどの地域イベントを開催することで、さまざまな団体の活動内容を知ることのできる機会を作ります。
- ・「地域のために何かをしたい」と思った方の思いが実現するように、社協と一緒に考え、支援します。

●活動目標(2) <sup>ちいきかつどう</sup>地域活動の先 <sup>さき</sup>にいる人 <sup>ひと</sup>を想像し、自分 <sup>そうぞう</sup>にできること <sup>じぶん</sup>を知ろう <sup>し</sup>

企業や学校・文化施設などに通う・働く私たちにできること

- ・地域のために何ができるのか、テーマや対象者、参加形態などを組織内で整理しておこう。
- ・台東区内で開催されているさまざまなイベントに出店してみよう。



台東社協の取り組み

- ・同じ思いを持っている方をつなげ、お互いにHAPPYになれるコラボレーション企画を一緒に考えていきます。

●活動目標(3) <sup>き</sup>気づいたこと <sup>きょうゆう</sup>をみんなで共有し、それぞれの役割 <sup>やくわり</sup>について知ろう <sup>し</sup>

地域活動者・団体や医療・福祉関係者の私たちにできること

- ・団体間や関係機関とのつながりを強化し、連携して地域課題の解決に向けて取り組もう。

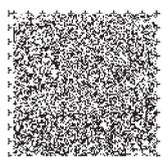


台東社協の取り組み

- ・地域で開催されているさまざまな会議や連絡会に参加し、地域の実情を把握するとともに、団体間のネットワーク作りにも取り組んでいきます。



お気軽にご相談ください!



詳しく知りたい方は  
QRコードから  
本編をチェック!

第1期台東区地域福祉活動計画(概要版)

(令和7年度～令和12年度)

【電話】 03-5828-7545 【FAX】 03-3847-0190

【発行】 社会福祉法人 台東区社会福祉協議会